

足尾散策の旬の旅情報満載!

「足尾」まち歩き 秋号

日光市役所足尾総合支所観光経済課
〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原1番19号 電話:0288-93-3116 FAX:0288-93-4783
日光市ホームページ http://www.city.nikko.lg.jp

鉾都「足尾」の短い夏も終わり、厳しい冬へのプロローグ。この季節は足尾でも一日の寒暖の差が激しく、奥山から少しづつ色づきはじめます。

足尾では、溪谷に映える美しい紅葉を見ることができます。神子内溪谷、小滝、庚申溪谷、餅ヶ瀬溪谷は静寂の中でせせらぎの音を聴きながら、存分に満喫できます。錦をまとった産業遺産もまた格別です。

今回は夏から秋、そして冬へと様相が一変する変化の激しい北部方面をご案内します。かつて銅山で働く人たちが多く住んだこの地区で、あなたは何を感じるのでしょうか。

☆北部の中心、上間藤から足尾砂防ダムまで

① 上間藤(かみまとう)

間藤は、ここ上間藤と、間藤駅のある下間藤に分かれています。足尾では、松木に次いで開発された地区で、今から約150年前、二宮義徳翁が訪れた時、間藤村に19戸90人が住み農業を営んでいました。様相が一変するのは明治初期からで、赤倉と並び北部の中心となりました。

② 共同浴場(きょうどうよくじょう)

足尾には、かつてこのような共同浴場が各地区にありました。銅山社宅の多くは、内風呂がなく、こうした浴場を利用しました。

③ 足尾銅山生活協同組合三養会 深沢商店

明治41(1908)年に、銅山で働く人達のためにつくられた生協で「販売組合本山三養会」として足尾町本山の地に発足しました。

名前の由来は「安分以養福」「實業以養氣」「資貴以養財」の「福・氣・財」の三のを養うことから「三養会」とつけられました。

昔は、古河の従業員が利用することができず、従業員には運賃が滞り、冬水を持って運物をし、精算は後日、給料からの天引きでした。(現代のクレジットカードです)ですが、足尾では銅山に働く人はお金がなくても1ヶ月は生活することができたのです。

④ 章橋社宅(現、日光市足尾増佳宅)

明治期に社宅が建てられ「福長屋」と呼ばれていました。また、現在の足尾町立本山小学校の前身となる「私立足尾銅山尋常高等小学校」も、この地で創立しました。

⑤ 古河橋

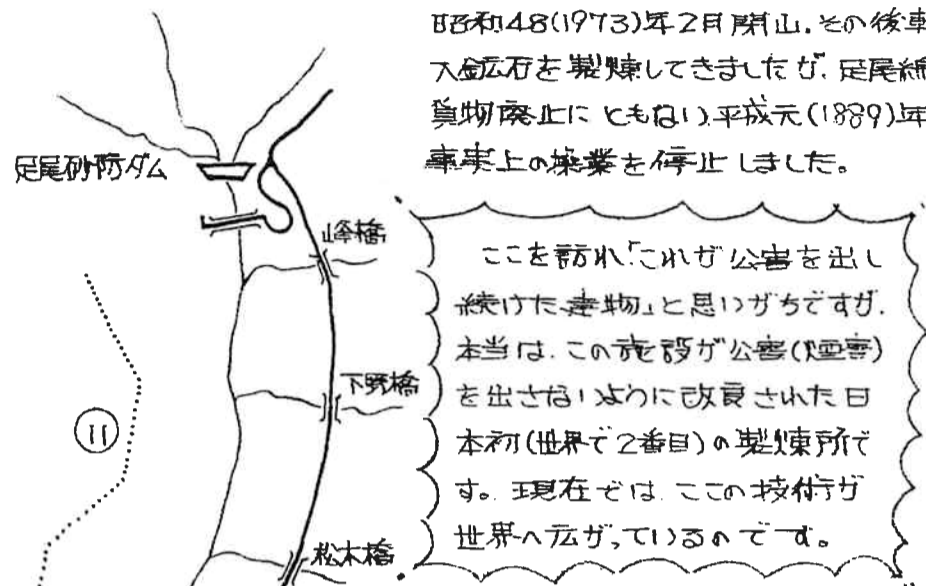
明治20(1887)年の大火を教訓に、燃えぬ橋として道路用鉄橋が明治23年に架けられました。

トラス構造48.5mの橋は、ドイツから輸入したもので、日本に残されている道路用鉄橋としては、古いものに数えられます。

⑥ 足尾製煉所

対岸の施設は、昭和31(1956)年に完成した自熔製煉工場と、上段に脱硫装置を備えた硫酸工場を組み合わせた施設です。

昭和48(1973)年2月閉山。その後輸入鉱石を製煉してきましたが、足尾銅山廃止にともない平成元(1989)年、事実上の操業を停止しました。



ここを訪れたれば公害を出し続けた建物」と思いますが、本当は、この施設が公害(煙害)を出さぬように改良された日本初(世界で2番目)の製煉所です。現在では、この技術が世界へ広がっているのです。

ここは、明治11(1884)年、銅製煉の大量処理を行うために直利橋分工場が設けられたところ。昭和31年自熔製煉工場が完成するまで、数度の改良がされましたが、製煉する時に出る亜硫酸ガスで当時の技術では、何としても除去することができず、たのす。

⑦ 製煉所大煙突

製煉所の象徴的なのがこの煙突は、大正8(1919)年に建てられたもので高さ48m、直径が下部5.7m、上部3.8mです。

⑧ 龍蔵寺(天台宗、本寺:日光山輪王寺)

このお寺には、坂本さんのお墓や、旧松木村の無縁塔があります。

また、明治新政府打倒に協力して捕えられた大忍坊(厚善城)や松正坊(香樹林)の墓が残っています。

*一言声をかけてから、見学しましょう。

⑨ 愛宕下社宅カラミ煉灰防火壁

この地区を愛宕下とよみます。明治40(1907)年代から製煉所に働く人達のために社宅が建てられ、大正時代に社宅を増設され「赤長屋」と呼ばれました。

当時は、火事が多く延焼を防ぐために防火壁がつけられました。材料は、銅製煉するときに出るカラミ(不純物)を型に流し固めたものです。

⑩ 大畑赤緑の砂防ゾーン

国土交通省が、NPO足尾に緑を育てる会などと民間と協働して、環境学習・体験植樹・治山砂防事業などを進めている中心地です。

⑪ 高原木堆積場

江戸時代は、農業を営む集落でしたが、明治初期からの本山開発によって、廃石の堆積場になりました。

明治40(1907)年頃から、社宅が建ち始め賑わいましたが、昭和21年頃から撤去され、2003年後に無人になりました。

